

海洋勞資協會旨及綱領

一、ゼノア會議以來、我が船員の統一を圖り、以て其の向上  
 を期するの最大の要事を痛感し、措かざりしは、機運  
 未だ熟成せず、其の間多々の計圖なきにあらざるも、  
 今尚混池として、再に適從する所以を知らず能はず、  
 或は却つて思慮の惑亂に陥り、土氣の壞頓を見んとす、  
 是を海洋五國の大本に稽之、海運興國の國是に徴  
 する時、何人が懐に快むるや、あらんや、  
 況んや、踏海以て家となし、帆風以て志となす吾人  
 船員に於てや。

今や内は總この社會を通りて生活、尊嚴を蒙り、  
 外は略懐として四邊の消息悉し非なり、正にこれ